

温泉利用許可年月日 及び指令番号	平成 年 月 日 長野県指令 保環第 号
---------------------	----------------------

認定番号	
認定年月日	更新 年月日
有効期限	更新 年月日

申請者の名称	有限会社 温泉ホテル 代表取締役
申請者の住所	長野県 市大字 番地
温泉地名	温泉
温泉利用施設の名称	温泉ホテル
温泉利用施設の住所	長野県 市大字 番地 TEL: - -

源泉の 状況	源泉名	
	(7) 源泉名	温泉
	(1) 自家源泉か 共有源泉かの別	自家源泉
	温泉の湧出地	
	(7) 湧出地住所	市大字 字 番地
(1) 湧出地から 利用施設までの 引湯距離	900m	
湧出量 (L/分)	61.1L/分	
湧出形態	掘削自噴泉(掘削深度130m)	

浴槽の 温泉の 状況	浴槽の種類とその状況	
	(7) 各浴室ごとに 浴槽の数及び 浴槽ごとの容量	の湯(男・女) 大浴槽 2.5m ³ (2,500L)、イベント湯1.5m ³ (1,500L)各1槽づつ
		の湯(男) 大浴槽 3m ³ (3,000L)、小浴槽 2m ³ (2,000L)
		の湯(女) 大浴槽 3m ³ (3,000L)、小浴槽 2m ³ (2,000L)
	(1) 温泉以外の浴槽 の有無及びその 状況	イベント湯(の湯、男女各1槽)、水道水を使用
	(9) 浴用剤の使用の 有無及びその 状況	季節感を感じてもらうため、イベント湯に (商品名)を、毎朝1 程度、直接浴槽に投入しています。
	引湯の状況	
	(7) 源泉から引湯	
	a 引湯方法	温泉より施設敷地内の貯湯槽を経て引湯
	b 引湯量	60L/分 (86,400L/日) 1日24時間引湯
	(1) タンクローリーやポリタンクで温泉を搬送	
	a 搬送量	
	b 搬送頻度	
	加温・加水の状況	
	源泉の温度	30.2
(7) 加温の有無及びその状況		
a 加温の有無	各浴室の大浴槽は加温あり、小浴槽は加温なし	
b 加温の状況	大浴槽は常時加温	
c 加温の理由	源泉の泉温が30.2 と低いため、適温まで加温	
(1) 加水の有無及びその状況		
a 加水の有無	各浴室の大浴槽は加水あり、小浴槽は加水なし	
b 源泉率	各浴室の大浴槽は80%、小浴槽は100%	
c 加水している ものの種類	井戸水を加水	
d 加水の理由	大浴槽は湯量不足を補うため、20%程度加水しています。	
循環、かけ流しの状況及び 循環の場合はその理由	各浴室の小浴槽はかけ流し 各浴室の大浴槽は浴槽内循環(連日使用型)とかけ流しの併用 温泉資源保護と衛生管理のため、循環ろ過装置を使用していま す。	

浴槽の 衛生管理の 状況	換水の状況	
	(7) 換水の頻度	7日に1度以上換水
	(1) 換水の程度	完全換水
	……………の理由により、毎日完全換水できないことから、7日に1度以上完全換水して います。	
	浴槽の清掃の状況	
	(7) 浴槽の清掃の頻度	7日に1度以上は完全換水時に浴槽内を清掃
	7日に1度の完全換水時に、……により浴槽内を清掃し、完全換水時以外の日 は、……………により浴槽内を清掃しています。	
	殺菌処理の実施の有無及びその状況	
	(7) 殺菌処理の有無	強力磁石による殺菌
	(1) 殺菌処理の方法	強力磁石の機能、効果、使用頻度等の説明
	(9) 殺菌処理の理由	衛生管理のため殺菌
	……………の理由により、塩素消毒ではなく強力磁石による殺菌をしております。	
	レジオネラ菌の検査状況	
	(7) 検査頻度	年4回実施
	(1) 検査結果表(分析 結果)の掲示	前回検査結果を に掲示してあります。
当施設は、大浴槽、小浴槽ともに、塩素消毒を行っていないため、公衆浴場における衛 生等管理要領に基づき年4回レジオネラ菌の検査を実施します。		
温泉の成分分析の状況		
(7) 温泉分析に係る 温泉の採取場所	源泉湧出口から採取し分析	
(1) 温泉分析書の 分析時期	平成 年 月 日	
(9) 温泉分析書の掲示	施設の に掲示してあります。	
認定後1年以内に、湧口における分析を実施いたします。		

表示責任者	(有) 温泉ホテル 代表取締役
-------	--------------------